

第2回 練馬区の将来像を考える区民懇談会～教育分野

ボランティアをする 青少年を育成する

ボランティア・奉仕活動

だれでもボランティアができる、奉仕精神を育む

奉仕活動に進んで参加する青少年の育成（地域活動への参加。多面的な人間交流の機会と場）

誰でも区にボランティアとして貢献できる

安心・安全なまち

一人で生きられる区練馬区

子どもに安全なまち

練馬区の誰もが安心して明るく住みよいまちづくりをしようという願いをもっています。

人間個々には教育の基本は幼少時の躰や育ちようがその後の人生を大きく左右するものと認識しています。

安心・安全に老人、子どもが一人でも出かけられる街

練馬区の四季折々の自然を楽しみながら日常生活が送れる練馬区

お年寄りや子どもが一人で出かけられる環七、環八下に地下鉄を設けるなど交通網の整備

子どもがたくさん生まれる区になる

マナーの向上

そんなこと常識だよと注意することがほとんどない社会

落ちていたゴミを拾う子どもをそだてる

あいさつのある学校
あいさつをする子どもを育てる

家庭教育を大切に

家族団らん

家族そろって会話をしながら食事をとる

家庭の教育
家庭でしかできない教育の充実

父親も積極的に参加している学校
今は、母親が主に多く参加しているため

家庭教育の充実
・愛の場
・憩いの場
・教育の場

不登校をなくす

幼・小・中・高校で、問題行動（暴力・いじめ・不登校）がほとんどない状態

学校と地域と家庭を連携させた地域本部をつくり、現在、学校や家庭ではできないことを補完しつつ、地域コミュニケーションをつくる。

不登校をなくす

郷土理解と誇りをもった 国際交流

地域文化に誇りを持つ

伝統文化や（伝統）芸能の継承。

文化財の保護と活用。

地元地域の歴史に誇りをもっている。

国際交流・国際人

世界の地域との交流。

国際化のためにはまず自分の国を知る（伝統的な文化・歴史）。

学校・家庭・地域の コミュニケーション

学校・家庭・地域の連携と コミュニケーション

学校と地域の方々に参加できる（いろいろな行事等）

幼・小・中学校とシニアスクールをハード（場所）もソフト（授業等のかかわり）、一体化させる。

学校・保護者・地域が条件に応じて本音で協働できる状態

色々な世代が参加できるプログラム（催し）の充実（区単位でなく、地域・学校ごとに）

学校・家庭・地域の連携

地域での活発な交流・コミュニケーション

公立・私立の差がなく区民に提供するそれには夫婦愛和のもと、常に子どもの養育に関心を示し、見守っていくという親の姿勢が大事です。自己中心の生き方をやめ、人や世のために役立つ生き方を根気よく指導していきたいものです。

相互に連携のとれた家庭教育・学校教育・社会教育の推進

家庭教育や社会・生涯学習の充実

地域で育てる学校

地元地域の人との交流が盛んな学校

学校を地域のセンターに
・カルチャーセンター
・ヘルスセンター
・コミュニティセンター

各学校の特色が見える

学校は地域力の積極的な活用を

学区と区域の違い

更なる地域・学校・家庭との連帯・協力

学校は地域に根ざした開かれた学校に

放課後に子どもたちが遊んでいるまちづくり（安全に）

命・人権・ ノーマライゼーション

命・人権の尊重

命を大切にできる心や思いやりのある小学生の育成。

命・人権・食べ物大切さを一人ひとりが十分に認識している。

練馬の地を愛するやさしい心、思いあう心。

ノーマライゼーション の実現

どんなに重い障害があっても分け隔たれることがない。

普通学級にハンディのある子どもが在籍していることを、いわゆる健常者やその保護者が感謝している状態。

障害児（者）が素晴らしい個性の持ち主として尊重されるノーマライゼーション状態。

地域育成

人材育成

全ての区民が気軽に図書館を訪れ、そこで楽しみ、学び、あらゆる問題解決までする⇒自己責任社会へ

地域人材育成カレッジ

退職していきなり『地域デビュー』して失敗しないように早くから地域に参加する心構え

生涯学習の充実

地域を越えた生涯学習。

学校を生涯学習の拠点に。

外国人、帰国子女など、様々な言語をもつ人が共に学びあっている。

自分が提案した講座を自ら区民に対して気楽に開ける。

快適でのびのびした
教育環境（ソフト）

健康維持

病気になる前から、病気になるための健康維持、体力増進の取組がなされている。

温暖化対策として高層ビルの屋上庭園が義務付けられている先進区。

健康で活力（体力）のある小中学生の育成

体育館、児童館、敬老館、保健所がばらばらに機能するのではなく交流しあえる施設。

健康維持のための公園間を結ぶサイクリングロードの新設

一人ひとりが自然の中で、のびのびと自信と意欲をもてる

スポーツ、勉強に意欲を持てる。

スポーツサークルの活性化。

一人ひとりの子どもが他の人の顔色を気にせず自己主張できる。

幼・小・中・高の児童・生徒がのびのびと、はつらつと、自分の良さに自信をもっている状態。

学校と図書館、ふるさと文化館と連携させ、体験学習を充実

小中学校の授業と図書館、ふるさと文化館と連携させて、体験を通して考える学習を行う。

漫画を含む本の幸せな出会いができる学校図書館・区立図書館と学校教育（感想文要求型でなく）。

施設の充実（ハード）

スポーツ施設の充実

地域体育館はあるが、観覧席のある武道場を作ったらどうかと思う。

陸上競技場も1面で機械操作ができず手作業で行っている。大泉に都の施設があるが中途半端。観覧席がある競技場を作る。

テニス、水泳競技場も観覧席のある施設にする。

野球場が少ないため春・秋の2大会開催で夏の大会が実施できない。観覧席のある野球場を考える。

体育館7館の内6館が完成し、現在豊玉、中村で建設が始まっています。地域の体育館は充実していますが観覧席のある体育館を1館考えたい。（70万区民のため）

（観覧席のあるスポーツ施設を作る）ことを考えると光が丘公園の運動施設を区が総合スポーツセンターという大都市練馬にふさわしい夢と希望と感動を与えられるような施設を考えていきたい。

自然を重視した環境を考える学校づくり

温暖化に伴う勉強しやすい設備

緑の多い学校

教育改革

教師の資質向上

練馬区独自の教員の養成・採用。

子ども、親から尊敬される教師の育成、環境づくり。

小中学校の学校経営に企業出身者を校長に迎えて学校ブランド力向上を図る。

小学校1年～6年まで責任を持って指導して下さる先生（子どもに対して熱い思いがある）

道徳性の涵養

いじめのない教育意見交換は大いに良い。

幼・小・中・高の連携、関係性を濃密にする。

人を思いやる心（道徳、モラル）の充実。

児童生徒の知的発達段階と（それとは必ずしも一致しない）身体的発達段階に適応した小中学校の教育制度。

道徳的情操教育の充実。

道徳教育の大切さ（教える側もいかに大切、必要と感じるか）

週5日制の見直し

週5日制を見直し、月数回を授業を含めた行事にあてる。

教育委員会を教育改革の司令塔へ

教育委員会を文科省の下請けとせず、練馬区の教育改革の司令塔として機能させる。

体験学習の充実

異学年間の交流の活性化

幼稚園・小学校・中学校の交流を深め、他の学年を知る。

子どもが子ども自身で子ども間の問題を解決していく状態-ピア・サポート。

生涯教育

高齢化社会になり誰もが交流できる練馬区。

幼・小・中・高・大...様々な世代の子どもが同じ場所で触れ合っている。

年齢にこだわらず教えあう環境。

高齢化社会になり誰もが交流できる練馬区。

自分が学びたいと思うことをだれでも学べる。

人と人との交流をできるだけ多くできたらいい。

PDCAの推進

絶えずPDCAが行われ着実な改善が進められている状態

言語力の向上

言語力をしっかり身につけた子どもたち（すべての教科において筋道をつけて考え・話す）

私立校の増加

練馬区は公立校の割合がかなり高いが、民間のノウハウを入れるためにも私立校を増やす。